



清川

学校教育目標 『考える子(知) 豊かな子(徳) 強い子(体)』
キヤッチフレーズ 『笑顔あふれ 心あたか 清川っ子』
重点(目指す子どもの姿)
【あいさついっぱい】 【チャレンジいっぱい】
【えがおいっぱい】 【おもいやりいっぱい】
開校60周年テーマ
『未来へバトンをつなごう～清川っ子60年の物語～』

令和8年1月13日発行 No.18(文責 新津 貴裕)

『子どもたちが笑顔で自分らしさを發揮し、生き生きと活躍できる学校』

3学期の始業にあたり



2026年、新しい年が始まりました。あけましておめでとうございます。

保護者ならびに地域の皆さんには、希望に満ちた新年をお迎えのことと、心より

お喜び申し上げます。日頃より、本校の教育活動に対しまして、温かいご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

冬休みを終え、学校には子どもたちの元気な声と笑顔が戻ってきました。新しい年の始まりにあたり、子どもたちはそれぞれに目標や願いをもち、気持ちを新たに学校生活をスタートさせています。友達と再会した喜びを分かち合いながら、学習や行事に意欲的に取り組もうとする姿が見られ、大変うれしく感じております。

さて、3学期は一年のまとめの学期であるとともに、次の学年への大切な準備期間でもあります。これまでに身に付けてきた力をさらに伸ばし、自信をもって次の一步を踏み出せるよう、教職員一同、子ども一人一人に寄り添った指導を心がけてまいります。また、学ぶことの楽しさや、友だちと協力することの大切さを実感できるよう、日々の教育活動を充実させていきたいと考えております。

本年も、学校・家庭・地域が連携しながら、子どもたちの健やかな成長を支えていければ幸いです。引き続き、皆さまの温かいご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

PTA環境部の皆様 今年もすばらしいリンク ありがとうございました。

雪のない昨年度でしたが、今年は、12月中旬に降雪がありました。降雪量が多く、降り積もった雪を踏み固めたり平らにしたりする作業にはじまり、22日からの散水とPTA環境部の皆様が夜通し造成作業をしてくださいり、今年度も立派なスケートリンクが完成しました。心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。始業式後には、リンク引き渡し式も無事に行われました。今年は新年早々滑ることができ、少年団の子どもたちを中心にたくさんのお子さんが冬のスポーツを満喫しています。これからは体育の授業でもたくさん活用させていただき、今月末の28日(水)に予定しておりますスケート記録会では、子どもたちの頑張る姿を保護者の皆様に見ていただければ幸いです。



1月9日(金)始業式の日は、PTA育英部・三役の皆さんから、子どもたち一人一人に声をかけていただき、気持ちも新たにスタートを切ることができました。寒い中、ありがとうございました。今学期も、清川っ子のすてきな挨拶に期待しています。**朝の声かけ運動 ありがとうございます!**



今年から全校スケートに

昨年度までのスケート授業は、低・中・高の3ブロックに分かれ実施してきたところですが、今年度からは「全校スケート」として実施することといたしました。理由は、教職員数の減少に伴い、ブロックごとの実施では複数の教員を配置することが困難となり、安全面の確保が難しくなってきたためです。全校を3つのグループに分け、習熟度別に指導していきます。各グループ2名ずつ教職員がつき、子どもたちが安心・安全に学べる環境を整えていきます。基本的には、3・4時間目の時間帯に実施(23日は2・3時間目)します。スケート記録会は、1月28日(水)3・4校時。(予備日は1月29日、30日)に実施する予定となっております。

また、次年度以降は水泳学習も、安全面を最大限に考え、複数教員の配置が望ましいことから低中と高の2グループでの実施を考えております。

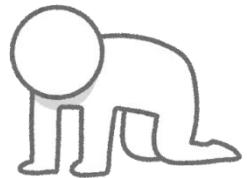


「ゲーム障害」ってご存じですか?

～ゲームとの付き合い方について(保護者の皆様へ)～

世界保健機関(WHO)は、2025年5月25日、ゲームを過度に行うことで日常生活に支障をきたす状態を「ゲーム障害」として、国際的な疾病として正式に認定しました。

WHOの「ゲーム障害」診断ガイドライン概要では以下のように記されています。



- ①ゲームをする時間や頻度を自分でコントロールできない
- ②学習、睡眠、家庭生活、人との関わりよりもゲームを最優先してしまう
- ③人間関係や健康などで問題が起きていても、ゲームをやめられない



といった状態が、長期間(一年以上)継続される ⇒ **ゲーム障害と診断**
ゲーム障害になると、朝起きるのが難しくなったり、攻撃的な行動を示したりすることがあります。これにより、ゲームをやめられず学校に通えなくなり、最終的に入院が必要になる場合もあるそうです。

依存症はゲームにもある!

薬物やアルコールだけじゃない!

依存症は、薬物やアルコールの刺激によって脳が興奮し、快感を得ることから始まると言われています。この快感を再度求めることで、さらなる刺激を求める行動が生じます。ゲーム依存症では、ゲーム画面を見るだけで脳が活性化すると言われています。

成長期の子どもは、自己制御がまだ十分に発達していないため、依存状態に陥りやすいといわれています。ゲームやインターネットは便利で楽しいのですが、使い方を誤ると生活リズムの乱れや、心身の健康への影響が心配されます。

文科省調査では、小・中学生あわせて約75%が1日1時間以上ゲームをすると回答。17%ほどが1日4時間以上ゲームをしていると答えているそうです。また、政府調査では10歳前後(小学生)のネット利用時間(動画視聴やゲームを含む)は平日で平均約3時間46分という結果が出ているそうです。

依存症とは?



学校でも、子どもたちが自分の生活を振り返り、健康的な習慣を身に付けられるよう指導してまいります。気になることがありましたら、いつでもご相談ください。

ご家庭でもお子さんとメディアとの上手な付き合い方について話し合い、再確認をお願いいたします。